RV-200

REVERB

取扱説明書

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.17））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

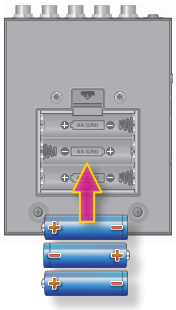
© 2023 Roland Corporation

準備する

電池を入れる

図のように、向きに注意して電池を入れます。

※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとディスプレイに「Lo」と表示されます。新しい電池と交換してください。



注意

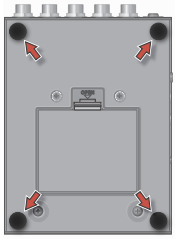
- 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。

※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷付ける恐れがあります。



各部の名称とはたらき

トップ・パネル

1 ディスプレイ

リバーブ・タイムなどを表示します。

2 [TIME] つまみ

つまみを押すたびに、つまみの機能（リバーブ・タイム・モードとメモリー・ナンバー・モード）が切り替わります。

本機が MENU モードのときは、パラメーターを選んだり、確定したりします（P.10）。

リバーブ・タイム・モード

リバーブ・タイム表示例
(0.1s のとき)

※ 工場出荷時の状態では、リバーブ・タイム・モードに設定されています。

[TIME] つまみを回して、リバーブ・タイムを設定します。

[TIME] つまみを押しながら回すと、値を大きく変化させることができます。

タイプ	パラメーター	表示
ROOM	0.1 ～ 10.0s	0.1s=「0.1」 1s=「1.0」 10s=「10.0」
HALL		
PLATE		
SPRING		
SHIMMER		
ARPVERB		
SLOWVERB		
MODULATE		
LO-FI		
GATE		
+DELAY	0.01 ～ 1.00s	10msec=「0.01」 1s=「1.00」
REVERSE	0.1 ～ 1.0s	0.1s=「0.1」 1s=「1.0」

メモリー・ナンバー・モード

メモリー・ナンバー表示例
(MANUAL、Memory 1 のとき)

[TIME] つまみを回して、メモリー・ナンバーを切り替えます。

注意

メモリーのリバーブ・タイムを変更するときは、[TIME] つまみを 1 回押して、リバーブ・タイム・モードに切り替えてから回します。

[TIME] つまみがメモリー・ナンバー・モードのまま回してしまうと、メモリー・ナンバーが切り替わり、エディットした内容が消えてしまいます。

エディットしたメモリーを保存しておきたい場合は、ライト操作（P.9）を実行してください。

3 [PRE-DELAY] つまみ

リバーブ音が出力されるまでの時間を調節します。

4 [E. LEVEL] つまみ

リバーブ音の音量を調節します。

5 モードつまみ

リバーブのモードを選びます。

モード	表示	説明
ROOM	roM	室内での残響をシミュレートしたリバーブです。
HALL	hLL	コンサート・ホールでの残響をシミュレートしたリバーブです。
PLATE	PLt	プレート・リバーブ（金属板の振動を利用したリバーブ・ユニット）をシミュレートしています。
SPRING	SPG	ギター・アンプ内蔵のスプリング・リバーブをシミュレートしたリバーブです。
SHIMMER	ShM	高域のきらびやかさが特徴のリバーブです。 倍音の広がりに包まれた幻想的な残響音が得られます。
ARPVERB	ArP	アルペジオ・サウンドをモチーフにした、幻想的な残響音が得られます。
SLOWVERB	SLU	ゆるやかな立ち上がりと、柔らかな倍音を含むサウンドです。
MODULATE	Mod	ホールの残響にゆらぎを加えたリバーブで、非常に心地よい残響音が得られます。
+DELAY	dLY	ディレイと組み合わせたリバーブです。相乗効果によるリッチな残響音が得られます。
LO-FI	LoF	LO-FI なリバーブ・サウンドです。
GATE	GAt	残響音の余韻をカットするリバーブです。
REVERSE	rEU	逆再生するリバーブです。

6 [PARAM] つまみ

モードに応じたパラメーターを調節します。

モード	パラメーター	設定値	説明
ROOM	TYPE	AMBIENCE（AMb）、 SMALL（SML）、 MEDIUM（MEd）、 LARGE（LrG）	部屋の大きさを選びます。
HALL	TYPE	SMALL（SML）、 MEDIUM（MEd）、 LARGE（LrG）	コンサート・ホールの大きさを選びます。
PLATE	LOW DAMP & HI DAMP	-50 ～ 50	低音域、高音域の減衰量を調節します。
SPRING	SPRING NUMBER	1 ～ 3	スプリングの本数を選びます。
SHIMMER	RELEASE	0 ～ 100	倍音の広がりを調節します。
ARPVERB	ATTACK	0 ～ 100	アルペジオ・サウンドのアタックを調節します。
SLOWVERB	DIRECT LEVEL	0 ～ 100	ダイレクト音を調節します。
MODULATE	MODULATION DEPTH	0 ～ 100	リバーブ音を揺らす深さを調節します。
+DELAY	DELAY LEVEL	0 ～ 100	ディレイの音量を調節します。
LO-FI	DISTORTION	0 ～ 10	歪み具合を調整します。
GATE	THRESHOLD	0 ～ 100	リバーブ音の長さを調節します。
REVERSE	HIGH CUT	0 ～ 15	高い周波数成分をカットします。

7 [LOW] つまみ

リバーブ音の低域を調節します。

8 [HIGH] つまみ

リバーブ音の高域を調節します。

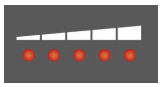
9 [DENSITY] ボタン

ボタンの押しかたで、機能が異なります。

操作	説明
押す	リバーブ音の密度を調節します。
長押し （パネル・ロック）	パネル・ロックは、誤操作を防ぐための機能です。 つまみとボタンの操作を有効（アンロック）にするか／無効（ロック）にするかを切り替えることができます。 ロック中に操作をすると、ディスプレイに「LCK」と表示されます。

[DENSITY] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押すと、MENU モード（P.10）になります。

10 DENSITY インジケーター



[DENSITY] ボタンを押して設定したリバーブ音の密度に合わせて、LED の点灯状態が変わります。

11 [MEMORY] ボタン

メモリー（MANUAL、1 ～ 127）の切り替えや保存をします（P.9）。

[MEMORY] ボタンを押すたびに、メモリーが切り替わります。また、[MEMORY] ボタンを押したまま [TIME] つまみを回してもメモリーを切り替えることができます。

点灯状態	説明	表示
緑	MANUAL モード	MAn
赤	メモリー 1 ～ 4	M-1...M-4
消灯	メモリー 5 ～ 127	M-5...M27

※ 工場出荷時の状態では、マニュアル、メモリー 1 ～ 4 までしか選べません。メモリー 5 ～ 127 を選ぶときは、事前に EXTENT FROM（EtF）、EXTENT TO（Ett）（P.13）で最大値の設定を変えることで、メモリーの切り替え範囲を広げることができます。

12 MEMORY インジケーター

選ばれているメモリーを表示します。

メモリー 5 ～ 127 が選ばれていると、インジケーターが消灯します。

13 [ON/OFF] スイッチ

リバーブをオン／オフします。

メモ

[ON/OF] スイッチの機能は、「SWF」（ON/OFF FUNCTION）で切り替えることができます。

キャリー・オーバーの設定については P.11 をご覧ください。

14 [MEMORY/HOLD] スイッチ

メモリーを切り替えます（P.9）。

長押しすると、ホールド・モードに切り替わります。

メモ

[MEMORY/HOLD] スイッチの機能は、「MFC」（MEMORY FUNCTION）で切り替えることができます。

リア・パネル（機器の接続）

※他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

A INPUT（A/MONO、B）端子

ギターやベース、エフェクターなどを接続します。

ステレオ出力のエフェクターを使用するときは INPUT A/MONO 端子と INPUT B 端子に、モノで使用するときは INPUT A/MONO 端子に接続してください。

電源を入れる／切る

INPUT A/MONO 端子は、電源スイッチも兼ねています。INPUT A/MONO 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。

電源を入れるとき

ギター・アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

ギター・アンプなどの電源を最初に切ってください。

※ 電源を入れる／切るときは、接続した外部機器の音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

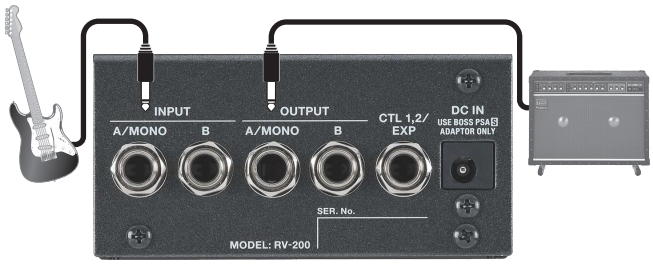
B OUTPUT（A/MONO、B）端子

アンプやモニター・スピーカーに接続します。

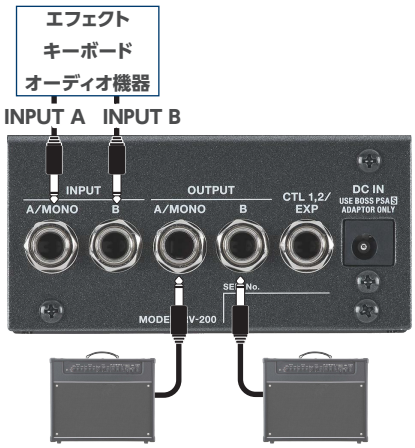
モノで使用するときは OUTPUT A/MONO 端子のみに接続してください。このとき、ステレオで入力した音もモノで出力されます。

ステレオで使用するときは、OUTPUT A/MONO 端子と、OUTPUT B 端子の両方に接続してください。

モノ・イン／モノ・アウト接続例



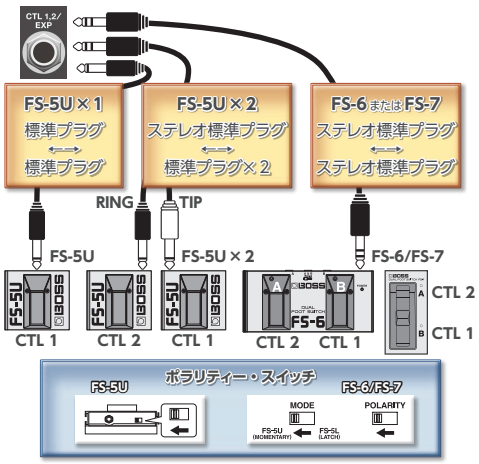
ステレオ・イン／ステレオ・アウト接続例



C CTL 1、2/EXP 端子

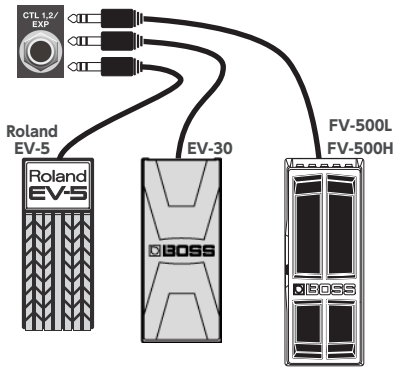
CTL 1/2 端子として使う

フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、フェードイン／アウトやメモリーの切り替えができます（P.10）。



EXP 端子として使う

エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、リバーブ・タイムやリバーブ音の音量などをコントロールすることができます（P.12）。



※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

D DC IN 端子

AC アダプター（別売：PSA-100S）を接続する端子です。

※ AC アダプターは、必ず指定のもの（別売：PSA-100S）を、AC100V の電源で使用してください。

※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

サイド・パネル（機器の接続）

E MIDI 端子

TRS/MIDI ケーブル（別売:BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、BCC-1-3535、BCC-2-3535）で外部 MIDI 機器に接続します。外部 MIDI 機器を使って本機のメモリーを切り替えたり、各種パラメーターのコントロールをしたりすることができます。

※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

F USB 端子

USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。

※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

※ プログラム・アップデート専用です。

メモリーの保存／呼び出し

メモリーに保存する（ライト操作）

エディットしたリバーブの設定を保存することができます。

1. ［MEMORY］ボタンを長押しします。

ディスプレイに「Wrt（WRITE）」と表示されます。

2. ［TIME］つまみを回して、保存先（MAN（マニュアル）、1 ～ 127）を選びます。

［MEMORY］ボタンを押して、保存先を選ぶこともできます。

中止するときは、［DENSITY］ボタンを押します。

※ 100 ～ 127 までのメモリーは、画面では .00 ～ .27 とドット付きで表示されます。

3. ［MEMORY］ボタンを長押しします。

メモリーが保存されます。

メモリーを呼び出す

保存したメモリーを呼び出します。

1. ［MEMORY］ボタンを押して、メモリーを選びます。

ボタンを押すたびに、「MAN（マニュアル）→ 1 → 2 → 3 → 4 → MAN ...」の順でメモリーが切り替わり、MEMORY インジケーターが点灯します。

［MEMORY］ボタンを押しながら［TIME］つまみを回しても、メモリーを切り替えることができます。

メモ

工場出荷時の状態では、マニュアル、メモリー 1 ～ 4 までしか選べません。メモリー 5 ～ 127 を選ぶときは、事前に EXTENT FROM（EtF）、EXTENT TO（Ett）（P.13）で最大値の設定を変えることで、メモリーの切り替え範囲を広げることができます。

メモリー 5 ～ 127 を選んでいるときは、MEMORY インジケーターが消灯します。

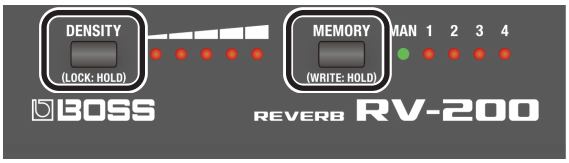
「MAN」（マニュアル）とは?

「MAN」を選ぶと、各つまみの位置の設定でリバーブが鳴ります（マニュアル・モード）。

全体の設定をする（メニュー）

基本操作

1. ［DENSITY］ボタンと［MEMORY］ボタンを同時に押して、MENU モードにします。



MENU モードになります。

2. ［TIME］つまみを回してパラメーターを選び、［TIME］つまみを押します。

値が表示されます。

3. ［TIME］つまみを回して、値を変えます。

4. ［TIME］つまみを押します。

5. ［DENSITY］ボタンと［MEMORY］ボタンを同時に押して、MENU モードを終了します。

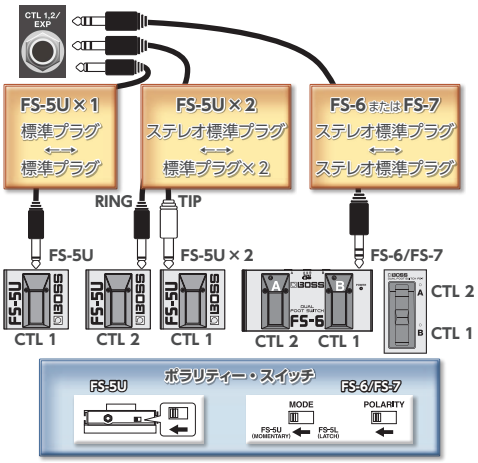
外部ペダルに機能を割り当てる

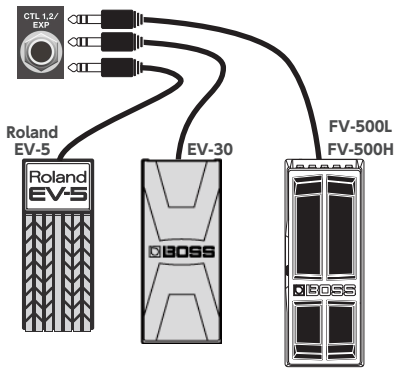
CTL 1, 2/EXP 端子にフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、フェードイン／アウトや、メモリーの切り替えができます。

メニューの「C 1F」または「C2F」で設定します（P.12）。

エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、リバーブ・タイムやリバーブ音の音量などをコントロールすることができます（P.12）。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。





メニュー・パラメーター一覧

表示	パラメーター	設定値	説明
CrY	CARRYOVER	**OFF/ON**（oFF、on）	メモリーを切り替えたときや、エフェクトをオフにしたときに、リバーブを残すか（on）残さないか（oFF）を設定します。
SWF	ON/OFF FUNCTION	[ON/OFF] スイッチの機能を設定します。	
		ON/OFF SWITCH（SW）	エフェクトをオン／オフします。
		MEMORY DOWN、ON/OFF（Mdn）	メモリー・ナンバーが減少します。[ON/OFF] スイッチを長押しすると、エフェクトのオン／オフを切り替えることができます。
		MEMORY UP、ON/OFF（MuP）	メモリー・ナンバーが増加します。[ON/OFF] スイッチを長押しすると、エフェクトのオン／オフを切り替えることができます。
		MANUAL（MAn）	マニュアルを選びます。すでに選ばれているときは、エフェクトをオン／オフします。
		MEMORY1 ～ 127（M-1 ～ M.27）	メモリー 1 ～ 127 を選びます。すでに選ばれているときは、エフェクトをオン／オフします。
MFC	MEMORY FUNCTION	[MEMORY/HOLD] スイッチの機能を設定します。	
		MEMORY DOWN、HOLD（Mdn）	MEMORY EXTENT の設定に従ってメモリー・ナンバーが減少します。[MEMORY/HOLD] スイッチを長押しすると、ホールド・モードに切り替わります。
		MEMORY UP、HOLD（MuP）	MEMORY EXTENT の設定に従ってメモリー・ナンバーが増加します。[MEMORY/HOLD] スイッチを長押しすると、ホールド・モードに切り替わります。
		MOMENT（MoM）	押している間だけリバーブ音を出力します。
		MOMENT TOGGLE（MoM）	リバーブ音を出力します。操作をするたびにオン／オフが切り替わります。
		FADE（FAd）	リバーブ音をフェードイン／アウトさせます。
		HOLD（hLd）	押している間だけ、リバーブ音を繰り返します（ホールド・モード）。
		HOLD TOGGLE（hLd）	リバーブ音を繰り返します（ホールド・モード）。操作をするたびにオン／オフが切り替わります。
		WARP（WAP）	押している間、リバーブ音のフィードバック量と音量を同時にコントロールし、幻想的なリバーブを作り出すことができます。
		WARP TOGGLE（WAP）	リバーブ音のフィードバック量と音量を同時にコントロールし、幻想的なリバーブを作り出すことができます。操作をするたびにオン／オフが切り替わります。
		TWIST（tSt）	押している間、アグレッシブな回転感（ツイスト効果）が得られる新しいリバーブです。
		TWIST TOGGLE（tSt）	アグレッシブな回転感（ツイスト効果）が得られる新しいリバーブです。操作をするたびにオン／オフが切り替わります。
		MEMORY DOWN、ON/OFF（Mdn）	MEMORY EXTENT の設定に従ってメモリー・ナンバーが減少します。スイッチを長押しすると、エフェクトのオン／オフを切り替えることができます。
		MEMORY UP、ON/OFF（MuP）	MEMORY EXTENT の設定に従ってメモリー・ナンバーが増加します。スイッチを長押しすると、エフェクトのオン／オフを切り替えることができます。
		MANUAL（MAn）	マニュアルを選びます。すでに選ばれているときは、エフェクトをオン／オフします。
		MEMORY1 ～ 127（M-1 ～ M.27）	メモリー 1 ～ 127 を選びます。すでに選ばれているときは、エフェクトをオン／オフします。

全体の設定をする（メニュー）

表示	パラメーター	設定値	説明
C1F C2F	CTL1 FUNCTION CTL2 FUNCTION	CTL1,2/EXP 端子に接続したフットスイッチの機能を設定します。	
		OFF（oFF）	割り当てをしません。
		MEMORY DOWN（Mdn）	MEMORY EXTENT の設定に従ってメモリー・ナンバーが減少します。
		MEMORY UP（MuP）	MEMORY EXTENT の設定に従ってメモリー・ナンバーが増加します。
		ON/OFF SWITCH（SW）	エフェクトをオン／オフします。
		MOMENT（MoM）	押している間だけリバーブ音を出力します。
		MOMENT TOGGLE（MoM）	リバーブ音を出力します。操作をするたびにオン／オフが切り替わります。
		FADE（FAd）	リバーブ音をフェードイン／アウトさせます。
		HOLD（hLd）	押している間、リバーブ音を繰り返します（ホールド・モード）。
		HOLD TOGGLE（hLd）	リバーブ音を繰り返します（ホールド・モード）。操作をするたびにオン／オフが切り替わります。
		WARP（WAP）	押している間、リバーブ音のフィードバック量と音量を同時にコントロールし、幻想的なリバーブを作り出すことができます。
		WARP TOGGLE（WAP）	リバーブ音のフィードバック量と音量を同時にコントロールし、幻想的なリバーブを作り出すことができます。操作をするたびにオン／オフが切り替わります。
		TWIST（tSt）	押している間、アグレッシブな回転感（ツイスト効果）が得られる新しいリバーブです。
		TWIST TOGGLE（tSt）	アグレッシブな回転感（ツイスト効果）が得られる新しいリバーブです。操作をするたびにオン／オフが切り替わります。
		MANUAL（MAn）	マニュアルを選びます。すでに選ばれているときは、エフェクトをオン／オフします。
		MEMORY 1（M- 1） **～MEMORY 127**（M.27）	メモリー 1 ～ 127 を選びます。すでに選ばれているときは、エフェクトをオン／オフします。
EPF	EXPRESSION FUNCTION	CTL 1, 2/EXP 端子に接続したエクスプレッション・ペダルの機能を設定します。	
		OFF（oFF）	動作しません。
		TIME（t iM）	［TIME］つまみと同じ動作をします。
		E. LEVEL（ELU）	［E. LEVEL］つまみと同じ動作をします。
		PARAM（PrM）	［PARAM］つまみと同じ動作をします。
		INPUT LEVEL（iLU）	入力レベルを調整します。
EPn	EXPRESSION MIN	EXPRESSION FUNCTION でコントロールするパラメーター可変範囲の最小値を設定します。可変範囲は設定値によって異なります。	
		TIME（t iM）	［TIME］つまみのパラメーターと同じ可変範囲で設定します。（P.3）
		E. LEVEL（ELU）	0 ～ 100（0 ～ 100）で設定します。
		PARAM（PrM）	［PARAM］つまみのパラメーターと同じ可変範囲で設定します。（P.4）
		INPUT LEVEL（iLU）	0 ～ 100（0 ～ 100）で設定します。
EPM	EXPRESSION MAX	EXPRESSION FUNCTION でコントロールするパラメーター可変範囲の最大値を設定します。可変範囲は設定値によって異なります。	
		TIME（t iM）	［TIME］つまみのパラメーターと同じ可変範囲で設定します。（P.3）
		E. LEVEL（ELU）	0 ～ 100（0 ～ 100）で設定します。
		PARAM（PrM）	［PARAM］つまみのパラメーターと同じ可変範囲で設定します。（P.4）
		INPUT LEVEL（iLU）	0 ～ 100（0 ～ 100）で設定します。
SWP MEP C1P C2P EPP	ON/OFF PREFERENCE MEMORY PREFERENCE CTL1 PREFERENCE CTL2 PREFERENCE EXPRESSION PREFERENCE	**MEMORY**（MEM）	本体スイッチ（［ON/OFF］スイッチと［MEMORY/HOLD］スイッチ）と、CTL 1, 2/EXP 端子に接続したフットスイッチ／エクスプレッション・ペダルの設定を、各メモリーの設定（MEM）にするか共通の設定（SYS）にするかを選びます。 ※各メモリーの設定にする場合は、ライト操作（P.9）でメモリーに保存します。
		SYSTEM（SYS）	

表示	パラメーター	設定値	説明
out	OUTPUT MODE	出力のしかたを選びます。	
		NORMAL（nor）	OUTPUT A/MONO 端子と OUTPUT B 端子にプラグが挿入されていたらステレオ、OUTPUT A/MONO 端子のみにプラグが挿入されていたらモノで出力します。
		DIRECT/EFFECT（dr'E）	OUTPUT A/MONO 端子からはダイレクト音、OUTPUT B 端子からはリバーブ音が出力されます。MODE が LO-FI のときは、ダイレクト音は出力されません。
		DIRECT MUTE（dMt）	リバーブ音のみを出力します。ダイレクト音は出力しません。
EtF Ett	MEMORY EXTENT FROM MEMORY EXTENT TO	**MANUAL**（MAn）、 **MEMORY 1**（M- 1） **～MEMORY 127**（M.27）	メモリーの切り替え範囲（MEMORY EXTENT FROM ～ TO）を設定します。
rCh	MIDI RECEIVE CHANNEL	**1**（1）**～16**（16）、 **OFF**（oFF）	MIDI 受信チャンネルを設定します。「oFF」に設定すると、MIDI メッセージを受信しません。
tCh	MIDI TRANSMIT CHANNEL	**1**（1）**～16**（16）、 **RECEIVE**（rCU）、 **OFF**（oFF）	MIDI 送信チャンネルを設定します。「oFF」に設定すると、MIDI メッセージを送信しません。 「rCU」に設定すると、MIDI RECEIVE CHANNEL と同じチャンネルで送信します。
P in	PC IN	**ON**（on）	プログラム・チェンジを受信します。
		OFF（oFF）	プログラム・チェンジを受信しません。
Pot	PC OUT	**ON**（on）	プログラム・チェンジを送信します。 ※ メモリーが MANUAL のときのプログラム・ナンバーは 1、メモリーが 1 ～ 127 のときのプログラム・ナンバーは 2 ～ 128 です。
		OFF（oFF）	プログラム・チェンジを送信しません。
CC i	CC IN	**ON**（on）	コントロール・チェンジを受信します。 つまみやフットスイッチをコントロール・チェンジでコントロールすることができるようになります。
		OFF（oFF）	コントロール・チェンジを受信しません。
CCo	CC OUT	**ON**（on）	コントロール・チェンジを送信します。
		OFF（oFF）	コントロール・チェンジを送信しません。
tMC PdC ELC PrC LoC hiC SWC MEC C1C C2C EPC EFC	TIME CC PRE-DELAY CC E. LEVEL CC PARAM CC LOW CC HIGH CC ON/OFF SWITCH CC MEMORY CC CTL1 CC CTL2 CC EXPRESSION CC EFFECT ON/OFF CC	**OFF**（oFF）、 **1**（1）**～31**（31）、 **64**（64）**～95**（95）	各操作子に対応するコントローラー・ナンバーを設定します。
Mth	MIDI THRU	**ON**（on）、 **OFF**（oFF）	MIDI IN 端子から入ってきた MIDI 信号を、そのまま MIDI OUT 端子から送信するか（on）しないか（oFF）を設定します。
P 1～P 9 P 10～P99 P.00～P.28	P1 ～ P9 P10 ～ P99 P100 ～ P128	**OFF**（oFF）、 **MAN**（MAn）、 **MEMORY 1**（M- 1） **～MEMORY 127**（M.27）	受信するプログラム・ナンバーに対するメモリーを設定します。バンク・セレクトは無視（関係なく受ける）します。 「oFF」に設定すると、エフェクトがオフになります。

プリセット・リスト

Memory MAN : ROOM

つまみ	パラメーター
MODE	ROOM
PARAM (ROOM TYPE)	MEDIUM (MEd)
TIME	1.4
PRE-DELAY	100
E.LEVEL	50
LOW	0
HIGH	0
DENSITY	3

Memory 1 : HALL

つまみ	パラメーター
MODE	HALL
PARAM (HALL TYPE)	MEDIUM (MEd)
TIME	3.3
PRE-DELAY	20
E.LEVEL	40
LOW	0
HIGH	0
DENSITY	2

Memory 2 : PLATE

つまみ	パラメーター
MODE	PLATE
PARAM (PLATE DAMP)	0
TIME	3.0
PRE-DELAY	0
E.LEVEL	40
LOW	0
HIGH	0
DENSITY	4

Memory 3 : MODULATE

つまみ	パラメーター
MODE	MODULATE
PARAM（MOD DEPTH）	65
TIME	3.3
PRE-DELAY	20
E.LEVEL	80
LOW	0
HIGH	0
DENSITY	2

Memory 4 : ARPVERB

つまみ	パラメーター
MODE	ARPVERB
PARAM（ARPVERB PARAM）	50
TIME	7.0
PRE-DELAY	0
E.LEVEL	50
LOW	0
HIGH	0
DENSITY	5

資料

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

RV-200 を工場出荷時の設定に戻します。

1. ［ON/OFF］スイッチと［MEMORY/HOLD］スイッチを押しながら電源を入れます（INPUT A/MONO 端子にプラグを挿します）。

ディスプレイに「FCt」と表示されます。

2. ［MEMORY/HOLD］スイッチのインジケーターが点滅したら、［MEMORY/HOLD］スイッチを押します。

ディスプレイに「Sur」と表示されます。

中止するときは、［MEMORY］ボタンを押します。

3. ［MEMORY/HOLD］スイッチを押します。

ファクトリー・リセットが実行されます。

4. ディスプレイに「F in」と表示されたら、電源を入れ直します（INPUT A/MONO 端子のプラグを挿し直します）。

主な仕様

電源	アルカリ電池（単 3 形）× 3、AC アダプター（別売）
消費電流	260mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池：約 4 時間 ※使用状態によって異なります。
外形寸法	101（幅）× 138（奥行）× 63（高さ）mm（ゴム足を除く） 101（幅）× 138（奥行）× 65（高さ）mm（ゴム足を含む）
質量	610g 680g（電池を含む）
付属品	「安全上のご注意」チラシ 「取扱説明書の入手方法」チラシ アルカリ電池（単 3 形）× 3 ゴム足× 4 保証書
別売品	AC アダプター：PSA-100S フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5 TRS/MIDI コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、BCC-1-3535、BCC-2-3535

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

使用上のご注意

電源について

- 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。
- 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、AC アダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。このとき保存していないデータは、消えることがあります。電源コードや AC アダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はメモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。
  Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.
  Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
  You may obtain a copy of the License at
  http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0
- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

ローランド株式会社
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1